



ミャンマーを、 夢が昇る国に。

誰もが夢を手に入れることができる。

毎朝、陽が昇るように、人々の夢が昇る。

私たちの使命は、

ミャンマーをそんな幸せに満ちた国にすること。

ミャンマーに笑顔を咲かせたいと

本気で思われている企業さまのために、

私たちは全力を尽くします。

WEBサイトURL

<http://www.j-sat.jp/>

J-SAT

会 社 名 : Japan SAT Consulting Co.,Ltd.

所 在 地 : Room No.1210, 12/A Floor, Sakura Tower,
No.339, Bogyoke Aung San Road,
Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar

T E L : {旅行.取材} (95-1) - 255924
[人材] (95-1) - 255925
[コンサル] (95-1) - 255683
[GENKY] (95-9) - 8615036

F A X : (95-1) - 255925

E - MAIL : [コンサル.人材] info@j-sat.jp
[旅行.取材] sanay@yangonow.com

J-SAT

Sanay
travel

Yango^{now}
HOT INFO YOU WANT

MIBTI
MYANMAR INTERNATIONAL
BUSINESS TRAINING
AND INTERNSHIP
GENERAL SERVICES CO.,LTD.



企業理念

Raise Your Dream

私たちは、ミャンマー社会の適正な発展に寄与すべく、様々なビジネススキルを組み合わせ、新しい価値とビジネスモデルを創造します。ミャンマーに住むすべての人が希望に心躍らせ、夢を手に入れることができる社会を実現する。
幸せに満ちた社会を育成する先駆者となるべく、常に挑戦を続けます。



会社概要

●会社名

Japan SAT Consulting Co.,Ltd.

●ホームページ

<http://www.j-sat.jp/>

●所在地

#1210, 12A Floor, Sakura Tower
No.339, Bogyoke Aung San Road,
Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar

●TEL

(95)-1-255683

(95)-9-8641219

(95)-9-421140290

●FAX

(95)-1-255683

●E-MAIL

info@j-sat.jp (総合)

●代表取締役

西垣 充

●会社設立

1998年8月

●資本金

100,000米ドル(2016年10月現在)

●従業員数(グループ全体)

110名(2016年10月現在)

●グループ会社

Sanay International Pte.,Ltd.

シンガポール 本社

Japan SAT Consulting Co.,Ltd.

ヤンゴン、ミャンマー進出総合コンサルティング会社

J-Sat General Service Co.,Ltd.

在ミャンマー日系企業向け、人材派遣紹介会社

Sanay Travel & Tours Co.,Ltd.

ヤンゴン、国内旅行手配、取材コーディネーター

Myanmar International Business Training and
Internship General Services Co.,Ltd. (MIBTI)

ヤンゴン、海外向け人材派遣・紹介会社、介護・エンジニア日本語訓練学校

GENKY Japanese Physiotherapy Clinic

ヤンゴンに2店舗、視覚障害者自立支援

株式会社 ジェイサットコンサルティング

日本、進出・人事コンサルティング

●ミャンマー政府労働局からの国内人材派遣ライセンス番号
11/2016

●ミャンマー政府ホテル観光局からの旅行業ライセンス番号
KHA-0739

●ミャンマー政府労働局からの海外人材派遣ライセンス番号
147/2015

●日本語学校ライセンス番号
150720451

●マッサージ店ライセンス番号
150920360

取引実績

●日本放送協会(NHK)

●テレビ朝日

●東京放送(TBS)

●日本テレビ

●フジテレビ

●テレビ東京

●読売テレビ

●毎日放送(MBS)

●朝日放送(ABC)

●中京テレビ

●RKB毎日放送

●九州朝日放送

●テレビ西日本

●テレビマンユニオン

●テレコムスタッフ

●PROTEX(テレビ東京制作)

●にっぽん放送

●ウェイブ

●ドキュメンタリージャパン

●日本電波ニュース

●いまじん

●テムジン

●日経映像

●パナソニック映像

●花組

●みずほ総合研究所

●野村総合研究所

●富士キメラ総合研究所

●矢野経済研究所

●船井総合研究所

●朝日新聞社

●日刊工業新聞社

●日経BP社

●講談社

●東洋経済新報社

●文藝春秋

●ダイヤモンド社

●NTTデータ

●ガルフネット

●リクルート

●バーテックスソフトウェア

●ベネッセコーポレーション

●イチネンホールディングス

●オムロン

●クラレトレーディング

●ドリームインキュベータ

●在ミャンマー 日本大使館

●国際協力事業団(JICA)

●日本貿易振興機構(JETRO)

●ユネスコ

●日本財団

●世界政経調査会

●国際交流基金

●アジア経済研究所

●農業生物資源研究所

●ミャンマーに学校を建てる会

●佐賀県国際交流協会

●日本ミャンマー友好協会

●日本化学繊維協会

●大阪府

●福岡県

●静岡県

●筑波大学

●筑波技術大学

●同志社大学

●京都大学

●近畿大学

●CLAIR Singapore

●電通

●博報堂

●日経社

●凸版印刷

●ロボット

●ソーダコミュニケーションズ

●順不同、その他多数

特集

J-SAT主催で、会計人材セミナーを開催

MVC、USC様と共同で実施。

昨年12月10日、弊社主催で会計人材セミナーを開催した。今回は、米国公認会計士として、ミャンマーへ常駐されている Myanmar Value Creation の中山様、多言語対応可能な会計システムを販売している UCS Myanmar の武藤様の協力を得て実施。20名の方にご参加いただいた。

中山様からは、「会社が求める経理人材と現実の運用ギャップ。その対処法」について講演していただいた。職務内容を明確にし、スタッフと会社の認識の差を埋めることが大切。会社側は立ち上げ期で事務方一切をスタッフに全部任せたいと考えているが、スタッフは雑務、外出などの経理以外の業務はしたくないと考えている。経理以外の業務も任せたいのであれば、最初に言ってあげることだ。また、プロセス作りは本業を知るマネージャーに任せ、経理スタッフはプロセスを回す係に専念させることも有効。そして、採用の際は①適切な帳票（総合定元帳、決算書一式、キャッシュブックなど）の理解、②期限への意識、③不正をしない倫理感、④会計資格 LCCI Level3 保有しているか、などの点から判断することを勧める。LCCI は非常に良くできた試験だが、スコアの50%をとれば合格できる点に留



意したい。

武藤様からは、「会計担当者の悩みと問題解決に必要な会計システム」という題で、ベトナムの日系企業140社以上で導入されている Mankichi Kanjo System (MKS) について講演していただいた。言語面での問題、業務の問題、内部統制の問題などをあげ、会計人材だけでなくシステムで管理することの大切さを説明。MKS には、買掛金、売掛金のチェック機能、部門別損益の算出、為替差損・差益の計算（多通貨対応）、データのロックなど様々な機能がある。その上、日英緬の多言語に対応。システム導入により、日本人担当者がデータを正確

に把握でき、会計データの精度も向上する上に、ミャンマー人スタッフとのコミュニケーションに割いていた時間を別の高度な業務に回すことができる。

今回のセミナーは弊社自身にとっても大変勉強になるものでした。セミナー終了後のアンケートも概ね好評で、複数の企業様からはシステム導入について好意的なお声も頂いた。会計人材セミナー、会計システムについて詳細な情報をご希望の企業様は、お気軽にお問合せ下さい。

担当：森川 morikawa@j-sat.jp
TEL 092-6113-8201

内定者パーティ開催 @ サクラタワーのおしらせ

皆さま、こんにちは。

今回 J-SAT の新しい試みとして、来る1月17日、サクラタワー Sky Bistro にて内定者パーティを開催致します。このパーティは弊社から採用いただいた勤務開始3ヶ月未満の社員を対象とし、パーティ会場では会社と社員間での勤務上の理解のズレ等を弊社の営業担当の者が直接ヒアリングし、社員の能力が発揮できるよう、また長く勤務を続けられるよ

うにサポートさせて頂きたいと思っております。日系企業で働く際に必要なことについてのセミナーも実施予定です。様々な日本企業から異業種等の社員が集まることで、情報交換やよい交流の場として新入社員だけでなく企業様にとっても有益なものとなるのではないかと思います。ご質問やご意見等ございましたら、ぜひご連絡よろしく願い致します。

担当者連絡先: endo@j-sat.jp

J-SAT グループ

ミャンマー日系企業向け人材紹介事業

公式人材紹介派遣免許（労働省許認可番号「08/2015」）を取得。現在ミャンマー進出日系企業の8割が利用。ミャンマー人登録者数12,500名以上。（2015年12月現在）

進出コンサルティング事業

会社登記から運営、事務所設立まで、ミャンマー特有の商慣習を長年の経験からミャンマー現地でサポート。

国内旅行手配・視察取材コーディネート

ミャンマー専門日系旅行会社の老舗。ミャンマーにおける取材コーディネート実績ミャンマー国内No.1。

視覚障害者支援

ヤンゴン国内に視覚障害者が働くマッサージ店を運営。視覚障害者発展財団も運営し、ミャンマー社会福祉省と共同でミャンマー国内の視覚障害者環境改善活動を実施。

MIBTI

MIBTI General Service Co., Ltd. (ライセンス番号: 57/2013) IT、CAD など高度人材と介護人材に特化して日本にミャンマー人材を派遣する政府公認送り出し機関。日本語ビジネス訓練センターも運営。

住所: Room 1210, 13th Floor, Sakura Tower No.339, Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar
電話番号: ++95-1-255925 (代表)
E-mail: info@j-sat.jp (総合)
consulting@j-sat.jp (企業進出・リサーチ関係)
media@j-sat.jp (テレビ・雑誌取材関係)

社員紹介
File.05

かまがたしょうた
鎌形 翔太

皆様こんにちは。大阪大学ビルマ語専攻の鎌形です。大学を休学し、2015年4月からインターンとして J-SAT に勤務しています。ミャンマーでの生活は刺激が多く大変充実し、勉強になることばかり。その反面、デング出血熱、バンコクの集中治療室での入院、手術などアクシデントも多く経験。未熟者で、会社にはまだまだ迷惑をかけてばかりですがしっかりと頑張ります。今後とも宜しくお願いいたします。





J-SAT General Services Co., Ltd.

Room No.1210, 13th Floor, Sakura Tower, No.339, Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon
Tel: 09-8641219 Web: <http://www.j-sat.jp/> <http://www.jobmyanmar.jp>

お勧め求職者リスト [日本語]

第 19 号 (2016.1.01)

登録番号 JP- 11194

ミャンマー人 男性 (46歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆日本語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆希望職種 : 翻訳、運転手
- ◆主な職歴 : 翻訳、運転手、居酒屋経営
- ◆希望給与 : 40 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT なし。日本に 7 年間に在。帰国後に居酒屋を経営。その後日系企業にて通訳。直近の会社では英語・ミャンマー語の通訳を担当。日本語の読み書きはできない。

登録番号 JP- 11281

ミャンマー人 男性 (34歳)

- ◆英語 : 社内の多様な場面で話することができる
- ◆日本語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : 通訳、ガイド、アカウント
- ◆主な職歴 : 通訳、翻訳、アカウント
- ◆希望給与 : 40 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT3 級。携帯電話部品会社にて、社長と従業員間の通訳を担当。また、紙貿易会社では月報・台帳等の会計業務を担当。アブダビのホテルで 2 年半勤務した経験もあり。

登録番号 JP- 11490

ミャンマー人 女性 (20歳)

- ◆英語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆日本語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆希望職種 : アシスタントマネージャー、経営
- ◆主な職歴 : 勤務経験なし (新卒)
- ◆希望給与 : 50 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT2 級。1 級を受け、現在結果待ち。2016 年 ヤンゴン外国語大学 日本語学科卒業予定。大使館主催の日本語演劇の大会で優勝し、1 週間日本へ渡航した経験あり。

登録番号 JP- 11545

ミャンマー人 男性 (34歳)

- ◆英語 : 社内会話可能
- ◆日本語 : 多様なビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : アドミン
- ◆主な職歴 : マネージャー
- ◆希望給与 : 90 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 NAT-TEST2 級。日本に渡り、語学学校、大学に通う。帰国後は、コンサルティング会社にて、会社変更業務、会計業務、増資手続き、HR、通訳を担当。日本語会話堪能。

登録番号 JP- 11694

ミャンマー人 女性 (33歳)

- ◆英語 : 社内会話可能
- ◆日本語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : HR アシスタント
- ◆主な職歴 : 教師 (アシスタント)、図書館職員
- ◆希望給与 : 50 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT4 級。3 級を受け、現在結果待ち。日本人学校の小学部にてアシスタントの教師として勤務。それ以前には、ヤンゴン歯科医学大学の図書館にて 13 年間勤務。

登録番号 JP- 10886

ミャンマー人 女性 (33歳)

- ◆英語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆日本語 : 多様なビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : オペレーションマネージャー、秘書等
- ◆主な職歴 : オペレーションマネージャー、コンサルティング
- ◆希望給与 : 150 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT1 級。ヤンゴン外国語大学 日本語学科卒。日本の大学で 5 年間学び、日本の飲食店で正社員勤務。帰国後は広告代理店にて勤務。決定権を与えられ業務を務める。

登録番号 JP- 11532

ミャンマー人 女性 (20歳)

- ◆英語 : 社内の多様な場面で話することができる
- ◆日本語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : 通訳、アドミン
- ◆主な職歴 : 通訳、アドミン
- ◆希望給与 : 30 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT3 級。2 級を受け現在結果待ち。2016 年 ヤンゴン外国語大学 日本語学科卒業予定。健康食品会社にて、アドミン業務、他スタッフへ日本語を教える。2 ヶ月間勤務。

登録番号 JP- 11737

ミャンマー人 女性 (29歳)

- ◆英語 : 多様なビジネス場面で話することができる
- ◆日本語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : セールスエグゼクティブ等
- ◆主な職歴 : セールス & マーケティング等
- ◆希望給与 : 70 万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 JLPT2 級。ヤンゴン外国語大学 日本語学科卒。照明供給会社にてヤンゴン・マングレーのプロジェクト現場調査や年間売上目標を担当。海外勤務経験あり、英語も堪能。

上記、候補者にご興味がある場合は登録番号をご用意の上、お問合せください。

弊社登録者は、12,500 名を超え、このほかにも優秀な候補者が多数おります。

詳しくは、担当：森川 (morikawa@j-sat.jp) までお気軽にお問合せくださいませ。



J-SAT General Services Co., Ltd.

Room No.1210, 13th Floor, Sakura Tower, No.339, Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon
Tel: 09-8641219 Web: <http://www.j-sat.jp/> <http://www.jobmyanmar.jp>

お勧め求職者リスト [英語]

第 19 号 (2016.1.01)

登録番号 GN-11456

ミャンマー人 女性 (34歳)

- ◆英語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆希望職種 : HR、アドミン等
- ◆主な職歴 : アドミンエグゼクティブ等
- ◆希望給与 : 50万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : 外資系教育センターにてプレスリリース、広告掲載を担当。同社のシンガポール社に異動し銀行業務、オフィスレンタルの契約管理を担当。海外勤務を含め1社で14年間勤務。

登録番号 GN-11436

ミャンマー人男性 (56歳)

- ◆英語 : ビジネス場面で適切に話することができる
- ◆希望職種 : 物流、QC、アドミン、プランナー
- ◆主な職歴 : プランナー、物流コーディネーター
- ◆希望給与 : 70万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : シンガポールの建設・メンテナンス会社にて、材料や製品の移動や保管、プランナーやプロジェクトエンジニアからの材料リストの収集を担当。15年間の海外勤務経験あり。

登録番号 EN-11493

ミャンマー人 女性 (25歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : エンジニア、HR
- ◆主な職歴 : シニアスーパーバイザー
- ◆希望給与 : 30万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : 音響・通信機器等の製品会社にて3年間勤務。スケジュールや従業員の業務の管理、機器のメンテナンス、生産性の向上のための取り組みを担当。日本語はN5を勉強中。

登録番号 EN-11380

ミャンマー人 女性 (30歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : 建築士、内装デザイン等
- ◆主な職歴 : 建築士、内装デザイナー
- ◆希望給与 : 80万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : シンガポールにて照明デザイナー、インテリアデザイナーとして計3年間勤務。帰国後、建築会社にて建築プロジェクトの援助、インテリアデザインや開発、M&Eとの連携を担当。

登録番号 AC-11340

ミャンマー人 女性 (23歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : 財務、会計サービス
- ◆主な職歴 : 監査役等
- ◆希望給与 : 40万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : 公認会計士資格 CPA Part1 修了、現在 Part2 を勉強中。監査に会社にて、財務諸表の監査・分析を担当。また、ミャンマー投資委員会に提出するデータの作成も担当。

登録番号 AC-11554

ミャンマー人 女性 (30歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : アカウタント
- ◆主な職歴 : チーフアカウタント
- ◆希望給与 : 80万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : 会計資格 LCCI Level III、ACCA Part I を保有。建設資材の製造・貿易会社にて、会計業務全般、エクセルや MYOB を用いたの会計管理を担当。7年間勤務する。

登録番号 IT-11132

ミャンマー人 男性 (34歳)

- ◆英語 : 限られたビジネス場面で話することができる
- ◆希望職種 : IT マネージャー、スーパーバイザー等
- ◆主な職歴 : IT オフィサー、ハードウェアエンジニア
- ◆希望給与 : 50万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : CCNA 保有。CCNP には1科目は合格、他の2科目は勉強中。ホテルのネットワークメンテナンス、Wi-fi やソフトウェア、CCTV 等のインターネットワークの管理、メンテナンス担当。

登録番号 IT-11082

ミャンマー人 男性 (22歳)

- ◆英語 : 社内の多様な場面で話することができる
- ◆希望職種 : ネットワークエンジニア等
- ◆主な職歴 : IT アシスタント
- ◆希望給与 : 30万チャット〜 (応相談)
- ◆備考 : ミッチーナコンピュータ大学 コンピュータ科学卒。ICTTI (訓練センター) ネットワークエンジニアリング修了。インターネットカフェにて、PC、ルーター、モデム等の設置・設定を担当。

上記、候補者にご興味がある場合は登録番号をご用意の上、お問合せください。
 弊社登録者は、12,500 名を超え、このほかにも優秀な候補者が多数おります。
 詳しくは、担当：森川 (morikawa@j-sat.jp) までお気軽にお問合せくださいませ。

J-SAT 通信 Vol.8

編集・発行 J-SAT General Services Co., Ltd

2016年1月10日(日)

本誌面に関するお問合せは morikawa@j-sat.jp 担当：森川まで

Raise Your Dream

新年あけまして
おめでとう
ございます



公式人材紹介派遣免許
(労働省許可番号 08/2015) 取得

J-SAT 今月のうごき

J-SAT 社員で、 Thin Kha Yine Myittar Yeik 僧院へ寄付を！

J-SAT では社会活動として年1～2回、社員各自が積み立てた寄付金を渡しに行く社会活動を行っている。昨年の12月29日、ヤンゴンから約200km離れた Gyobingauk の郊外にある Thin Kha Yine Myittar Yeik まで、貸し切りバスにて社員47名で孤児院に寄付を実施。道中、バスの通れない荒れた道になり、トラックに乗り換えるアクシデントも。朝5時にサクラタワー前に集合し、なんと到着は13時。片道約8時間の道のりでした。

孤児院は、小学4年生以下216名が暮らしており、敷地内には小学校も併設。両親のいない子供や育児放棄によりゴミ箱に捨てた子供などが生活しています。生後8か月から2歳までの子供も11名おり、両親のいない子供たちは1年に10名ほど増えているとのこと。この施設は U Thu Ma Na 僧正が2008年に設立。本人も幼少期から貧しかったこともあり、学校の先生などの助けを借りて学校に通い、大学2年生の時に出家。医者になりたいという夢があったものの、資金面から断念した経緯があり、自分のような子供を減らしたいという思いからこの孤児院を設立したとのこと。

孤児院では、電気・ガス、食費などで1日11万チャット(約1万円)もかかるが、立地も悪く、孤児院自ら資金を集めるのは困難であるため、有名な僧を通し

て寄付金を集めています。援助金が続く限りは孤児院を続けるとのことですが、先述の通り資金繰りは大変なため、実際に現地に行くのは困難ですが、口座に振り込むことで寄付をすることも可能です。ご興味のある方は、右記の口座から寄付ができます。その他詳細情報を知りたい方は、弊社までご一報ください。



孤児院への寄付はこちら

口座番号: YOMA BANK Account
No.4611500044-8

海外人材

【12月7日～9日】

- ・関西の物流会社にて4名正社員として内定。後日内定者の家庭訪問を実施。2名は8か月間弊社で日本語研修後、3月より日本で勤務予定。残り2名は既に日本語検定3級を取得済みで、同じく3月より勤務予定。(就労ビザ)

【12月8日】

- ・北海道の建設会社が、スカイプにて最終面接を実施し2名正社員として内定。8か月間の日本語研修後、6月より日本にて勤務予定。(技術ビザ)

【12月17日～20日】

- ・関東のIT会社が来栖し内定2名の家庭訪問を実施。来栖した日本の技術者が内定9名に技術研修を実施。

【12月26日】

- ・関東のIT会社にて正社員として内定を得た4名が日本へ出発。(技術ビザ)

国内人材

【12月6日】

- ・2015年第2回日本語能力試験がヤンゴンにて開催。弊社社員は各会場に分かれて配りをし、日本語人材と交流。

【12月10日】

- ・「会計人材セミナー」、Myanmar Value Creation の中山様、UCS Myanmar の武藤様と共同で実施。当日は20名のお客様にお越し頂く。

今月の新規登録者数 551名
合計登録者数 計12,527名 (12月末現在)

労働 NEWS

タイ企業、デモを行うミャンマー労働者たちの要求を受け入れ

不当な解雇や十分な給料が支払われないこと、タイ、サモンサーコン県オンヌエ市の Sri Siam Food 工場で働いているミャンマー人労働者約700人が12月7日にデモを行って9つの条件を要求した。

条件には、日給を300バーツに引き上げること、残業代の時給を56バーツに引き上げること、給料の支払いには法定休暇の日給を含めて算出してくれること、工場で労働者が仕事に負傷した場合は治療費を払うこと、健康診断を受けられること、月曜日や金曜日に休んでも給料から200バーツカットしないこと、給料は経営者から直接払うことを含む。

在バンコクミャンマー大使館の労働者保護団体(MAT)のアウンミャツ会員を中心にデモをしたことで、同団体の担当者とタイ労働省の担当者たちは協力して同月8日に経営者や労働者の間で折衝した後、タイ側経営者も承諾、今後同じことがないように約束したという。

(引用元: 12月10日付 7 Day Daily)

弁護士コメント

1951年に制定された工場法の改正法案が民族代表院で可決され、改正案において保育所の設置に関する規定がある。現在、ミャンマーにおいては産前6週間、産後8週間の産休については法令上の規定があるものの、育休に関しては規定がない。育児に関しては工場の労働者のみの問題ではないため、本来であれば一定の工場のみに保育所の設置を求めるというやり方ではなく、育休等の育児に関する法令を全体的に整備する必要がある。

また、現在の工場法は連続作業が必要か否かで1週間の労働時間が異なるが、連続作業が必要か否かの判断基準が不明確である。また、振替休日が休日と異なり祝日は認められていない等の実務上の問題が多く、これらの問題が解決されるような法改正がなされることを期待する。



弁護士協力:
SAGA 国際法律事務所 弁護士 堤 雄史
ミャンマーの駐在歴が最も長い日本人弁護士。
yujit@sagaasialaw.com



翻訳協力:
株式会社ココライズ・ジャパン
ミャンマー語を中心とした言語サービス専門会社。
info@kokorize.com 担当: 長田 潤

J-SAT、マンダレー2大の日本語教育受託



工科大学マンダレーのシン・ソー学長（左）とJ-SATの西垣充社長＝4日、マンダレー（J-SAT提供）

日本企業向け人材紹介・仲介会社ジェイサット・コンサルティング（J-SAT）は、中部の国立2大学、工科大学マンダレー（TUM）とマンダレー・コンピューター大学（UCSM）での日本語教育の運営を請け負うことで、5月4日に正式契約した。実際の日本語の授業を6月1日から始める。

大学側が日本企業への就職を希望する学生を選抜し、J-SATが2年間にわたって1日90分、週2日の日本語の授業を実施。卒業までに日本語検定試験3級（N3）レベル到達を目指す。J-SATが運営する日本語学校の教師が担当、

教科書も同校独自ものを使う。

ミャンマー政府は2011年の民政移管後、教育改革の一環として、中央政府に権限が集中していた大学運営の権限を各大学に移行。各大学は就職相談会を開催したり、語学クラスをつくったりして就職率を上げようと取り組んでいる。

ミャンマーでは技術やIT系大学を卒業しても就職できない人が少なくない。日本企業の進出が増え、特にIT関連企業では、日本語のできる技術者を使ってオフショア開発拠点を築く動きが活発なことから、J-SATは大学在学中に日本語を習得させ、就職を後押しする。

日本の中小企業への人材供給も想定。人材が不足している中小企業は戦略的に外国人を受け入れる動きが出ており、J-SATの人材送り出し子会社MIBTIでは、技術ビザを取得してミャンマー人技術者を日本で正規雇用したいという企業からの引き合いが増えている。

J-SATは2014年からミャンマー政府の協力で、国内の主要国立大学でキャリアセミナーを実施している。

ジェイサットコンサルティング 就職も支援

ミャンマーの大学で日本語教育

ミャンマーで日本企業の進出・人材・就職支援を手掛けるジェイサットコンサルティング（ヤンゴン）は、マンダレー工科大学とマンダレーコンピューター大学での日本語授業を6月から始める。

日系企業での勤務を希望する学生に対し、日本語教育とともに就職も支援する。同社では大学生向けのほか、介護人材、企業の管理職人材などを幅広く養成することで、「ミャンマー人材養成のスペシャリスト」を目指す。

各大学から選抜された学生は、週2回の授業を2年間受講

する。卒業までに日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる日本語検定試験N3レベル到達が目標だ。

日系企業は現地の人材に対して日本語能力を求めることが多い。とくにIT分野では優秀で安価なシステムエンジニアを求めて、大手から中小まで100社近くが進出している。これまでは採用した会社が独自に日本語教育を施していたが、在学中に習得することで就職に有利になるよう導く。

同社は2014年からミャンマー政府とともに主要国立大学で、キャリアプランのつくり方や日

系企業と欧米企業との違いなどのキャリアセミナーを開いて、在校生全体の底上げを図っている。7月には全国16大学で最学年の約5000人を対象にセミナーの開催を予定し、その後日系企業への就職を支援する。15年度には管理職やエンジニアなどとして、大卒者600人以上が日系企業に就職した。

ミャンマー日本商工会議所に登録している日本企業は300社を超え、3月末の新政権発足を受けて、さらに進出が加速するとみられている。

一方、ミャンマーでは大学生の就職難が続いている。こうし

約900人の学生がコンピューターを専攻するマンダレーコンピューター大学



た状況の下、政府による教育改革が推し進められ、各大学で特色ある独自の取り組みが試みられている。

マンダレーコンピューター大学は、ヤンゴンコンピューター大学と並ぶミャンマーを代表するコンピューター専攻の大学で、これまでに英語科、ビルマ語科があったが、今回新たに日本語科を設立した。

マンダレー工科大学は近年、

第二言語習得を強化し、すでに英語科、中国語科を設立している。今回、日本語科を開校し、将来的には韓国語、タイ語の科目も設置する予定で企業と協働を進めている。

西垣充社長は「自社に合った人材を採用することが進出成功のポイントとなる。人材事業をさらに深く掘り下げ、日本とミャンマー両国に貢献したい」と話している。

スポーツ産業新報



アジアでのブラインドサッカー浸透に貢献

日本ブラインド
サッカー協会

ミャンマーで普及活動

日本代表2選手を派遣

NPO法人日本ブラインドサッカー協会(JB)は12月13・16日、ミャンマーでブラインド

サッカーの普及活動を実施し、日本代表2選手権4連覇中のA van zanza reにつくばに所属する川村怜選手と福永克己選手を派遣する。今回は、ミャンマー社会福祉

の民政移管後は、ミャンマーが急速に発展するものの、視覚障害者を取り巻く環境は改善されていないという。

ミャンマー政府、筑波大学との交渉はジェイサットコンサルティングが単独で負担し、コーディネイトしている。

表は2年前のアセアンパラゲームズ(東南アジアパラリンピック)で、タイ代表、マレーシア代表と戦っているが、15年のアセアンパラゲームズには不参加。また、IBSA(国際視覚障害者スポーツ連盟)に加盟しておらず、視覚障害スポーツではパラリンピックに出場していない。

09年から視覚障害者支援を行うジェイサットコンサルティングの西垣充代表が、視覚障害者にも経済発展の恩恵を受ける事業をミャンマー政府と協議し、ブラインドサッカー普及活動を提案。筑波技術大学の形井教授及び緒方教授、JBFAの協力により、今回の普及活動が実現した。

今回の日本人指導者2人の費用やヘッドギア、マスク、ゴールポスト、ボール、会場使用費及びミャンマー代表の交通費はジェイサットコンサルティングが単独で負担し、コーディネイトしている。

指導に際しては具体的に、ヤンゴン国立チンミダイン盲学校、ヤンゴンチンミダイン盲学校、ゲンキーマッサージ店の3チームから10人を選出。ブラインドサッカーのルールから、パスの仕方など基本的な技術を伝え、各学校、マッサージ店にブラインドサッカーの楽しさを伝え、今後の本格的な普及活動に活かしていく。最終日は3チームで対抗PK戦を行う予定。

これまで、ブラインドサッカーのミャンマー代表は2年前のアセアンパラゲームズ(東南アジアパラリンピック)で、タイ代表、マレーシア代表と戦っているが、15年のアセアンパラゲームズには不参加。また、IBSA(国際視覚障害者スポーツ連盟)に加盟しておらず、視覚障害スポーツではパラリンピックに出場していない。

日本政府としては「ODAなどでスポーツ支援を行っていきたい」と、スポーツ分野の発展途上国支援に積極的に取り組む姿勢を示しており、2020年東京パラリンピックへのミャンマーチーム出場も見据えているという。

現地発 ワールド 経済

優秀な人材育て活用

少子化に伴って国内の技術者不足が深刻となる中、ミャンマー人に狙いを定め、正社員として採用する日本企業が増えている。就労期間が原則三年の「技能実習生」とは異なり、現地の大学を卒業するなど一定の要件を満たせば、就労ビザを取得できることも要因だ。優秀な人材を日本に送り込むため、ミャンマーの最大都市ヤンゴンで、言葉などの「壁」を打ち破ろうとする取り組みが本格化している。(ヤンゴンで、山上隆之、写真も)

ミャンマー 日本で正社員

■出欠管理を徹底
ヤンゴンのオフィス街の一角にある雑居ビル。講師が「国の経済発展に必要なものは何ですか」と問いかけると、次々と手が挙がり、「教育」「平和」「交



①日本で働きたいと、日本語の習得に励むミャンマー人の若者たち ②ネット回線を利用した電話サービスで画面に映る上司から指示を受けながら作業する豊橋設計の女性社員=いずれもヤンゴンで



通」などと生徒たちが答える。流ちょうな日本語が教室に飛び交った。

人材派遣のジェイサットコンサルティング(ヤンゴン)が二〇一三年に開設した「日本語訓練センター」には、工科大学などを卒業したばかりの若者が通う。八カ月間で日本語のみならず、ビジネスマナーや業界

用語も身に付けさせる。無断欠席を三回すれば退学にさせるなど、校則も厳しい。ジェイサットの西垣充社長(四七)は「企業側は即戦力を求めている。日本で勤務に備え、出欠管理は

徹底している」と語る。五年はIT業界を中心に七十人が日本企業に就職した。今年の内定者は百人を超す勢いという。

■まじめでしっかり
ミャンマーでは三月にアウン・サン・スー・チー氏主導の新政権が発足。規制緩和で外資の進出が加速しているものの、「ミャンマーの雇用は不足している。日本への就職希望者は依然多い」と西垣社長。地元

の大学で建築設計を学ぶセンターに通う女性のニンさん(三三)は「いずれは帰国して自分の会社をつくるの

が夢」と目を輝かせた。女性技術者八人を採用した豊橋設計(愛知県豊橋市)は一步進んだ採用をしている。日本の本社に送り込むだけでなく、優秀な人材は帰国させ、ヤンゴン事務所で勤務させている。それを可能にしたのが、ヤンマー人はまじめでしっかり働いてくれるから、とても助かっている」と話す。

設計システム(CAD)での工作機械の設計を請け負う同社では、パソコンや通信環境さえ整っていれば、勤務地は問題ではない。ネット回線を利用した電話サービスで、上司は豊橋市の本社にいたが的確に業務内容を指示できる。日本人社員を現地に常駐させる必要がないため、労務コストは大幅に軽減できるという。

介護人材輸出 アジアで過熱

技能実習生の職種拡大へ

介護現場で働く外国人が、早ければ来年度から大幅に増えそう。技能実習制度として受け入れる道が広がったため、アジアの国々では人材の争奪戦が過熱。人材不足にあえぐ日本の施設も狙いを定めるが、技能や知識を途上国に移すという制度の目的とかけ離れた動きになっている。

まず適性見極め

11月半ば、ミャンマー最大の都市ヤンゴンの一室に日本語が響いた。

「じゃあ言うよ。実は、まんじゅうが怖いんだ」

20代前半の男女5人が、古典落語「まんじゅうこわい」を音読していた。オチまで読んでニヤリ。「これは笑い話ですね」と日本語で言い合った。5人は日本の介護現場で働くことをめざし、1年間にわたる訓練を受けている。

この教室は、日系のジェイサットコンサルティング(JSAT)が昨年7月に医療団体と協力して開設。介護に特化した人材育成プログラムだ。まず適性を見

渡航前に施設実習・日本語訓練



外国人技能実習制度

途上国への技能や知識の移転を目的に1993年にできた。現在は機械、繊維、建設関係など74職種で約21万人を受け入れている。安価な臨時労働者として扱われるため国際社会から「強制労働」との非難が高まり、今国会で制度の適正化を進め、併せて介護を職種に加える関連法が成立。来年11月までに施行される。



EPA制度で来日し、特別養護老人ホームで働くベトナム人

EPAの介護人材と技能実習制度の違い		EPAの介護人材		技能実習制度	
経済連携の強化。政府間事業	目的	技能の移転。民間事業			
インドネシア、フィリピン、ベトナム	対象国	途上国など			
1カ国当たり年間300人	受け入れ上限	上限はなし			
原則4年(国家試験合格で働き続けられる)	在留期限	最長3年(5年に延長へ)			
大卒程度で介護講習を受けたか、看護課程修了者	応募要件	18歳以上			
日本語と介護を学ぶ。国が支援(入国前後に約1年間)	就労前に必要な研修	座学(入国後に2カ月間)			

「じゃあ言うよ。実は、まんじゅうが怖いんだ」

20代前半の男女5人が、古典落語「まんじゅうこわい」を音読していた。オチまで読んでニヤリ。「これは笑い話ですね」と日本語で言い合った。5人は日本の介護現場で働くことをめざし、1年間にわたる訓練を受けている。

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「基本的な日本語を理解できる(4級)人材は20万

日本へ技能実習生を最も多く送り出してきた中国は近年の経済成長で希望者が減少。ミャンマーは人口5千万人超で平均年齢が27・1歳と若く、人材の送り出し国として注目が集まる。

ヤンゴンには「CHBA(千葉)」「TSU(津)」など日本各地に溶接工などとして送り出した人数を掲げる事務所が点在。「介護人材募集」と貼り出す老舗の担当者は「日本の介護人材は足りないから集められただけ送れる」とし、人集めの秘策を明かした。

日本の施設が求める人材の日本語能力に比べて、

「出稼ぎ目的」も 意義空回り

介護人材の受け入れでは経済連携協定(EPA)の枠組みが先行する。ただ、政府間の取り決めで資格要件もあるEPAと異なり、技能実習生の人材に明確な基準はない。途上国に人材を還元するという制度の目的も空回りしそうだ。

ミャンマーのある老人施設の理事は「技能実習の経験者を雇いたいとは思わない。『お客様』として扱う日本と『家族』として支える私たちの介護方針は違う」。ヤンゴンの送り出し機関は「日本へは出稼ぎ目的だ」と言い切る。

経済が発展すれば技能実習のうまみは薄れる。ヤンゴンの送り出し機関組合の幹部は「今の給与水準で介護人材を送れるのは、あと5年くらい」と指摘する。

介護の心も伝える

今年に入って中国を抜き、新規の技能実習生を最も多く送り出したベトナム。青森県むつ市の社会福祉法人「青森社会福祉振興団」は中部フエにある医科大学と連携し、昨年10月に10カ月間の「介護人材養成コース」を創設した。介護技術指導員を常駐させ、現地で介護技術も日本語もほぼ身につけた「即戦力」を養成する狙いだ。

「目標を合わせて着たい服を尋ねています。お年寄りだって、自分で選んだものを着たいですよ」

11月中旬の授業。ビデオで日本人介護職員によるケアの様子を見せながら、指導員の小関博之さん(42)が尊敬を大切にする介護の心を伝えた。生徒のグエン・ディ・タイさん(22)は職員が利用者の入れ歯を取って洗う場面に顔をゆがめた。

「これも介護の仕事だと思わなかった」と驚き、「でも目標を合わせるのには良い。介護をするって優しい人になれそう」と語った。

「人材の好循環を」

青森社会福祉振興団の中山辰巳専務理事(64)は、ベトナムに戻った介護人材が活躍する場をつくる必要性を感じている。「外国人の介護人材をきちんと育てるルールを定め、人材の好循環を作らなければいけない。ただ安くこき使おうとする国に、人材はいずれ来なくなる」

(松川希美)

デジタル版に動画

障害者の自立 日本人が支援

ミャンマー

マッサージ指導 ■ 初の手話集

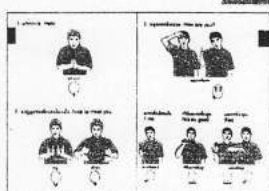
軍事政権下のミャンマー(ビルマ)で今年、視覚障害者が働くマッサージ店や、聴覚障害者のための手話の会話集が相次いで生まれた。途上国では経済開発が優先され、障害者施策はないがしろにされがちだが、日本人の支援で障害者の自立や社会進出を促す試みが動き始めた。

(ヤンゴン＝藤谷健)

ノウハウ輸入

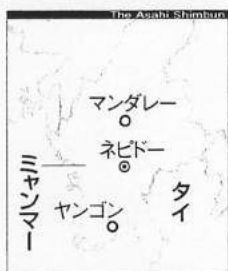
最大都市ヤンゴンの中心部

にある商業ビル。その5階に6月、日本式マッサージの店「GENKY(ゲンキ)」が



⑤ マッサージをするエー・ティタさん(ヤンゴン、藤谷写真) ⑥ 基礎会話集に収録された「あいさつ」の手話の一部

フォーカス



オープンした。清潔感のある店内はカーテンで仕切られ、施術用のベッドが7台並ぶ。4月に開店した1号店に続く2店目。双方で男性13人と

女性6人の視覚障害者がマッサージ師として働く。ロコモで広まり、朝9時から夜9時まで客足が途切れない。

エー・ティタさん(32)は多

い日は1日あたり10人に施術する。「こんなに忙しくなるとは思わなかった」と笑った。ヤンゴン郊外の村出身。5歳の時の高熱で目が見えなくなった。21歳で盲学校に入ってマッサージを学び、卒業後に村で開業したが、月収は数千円にしかならなかった。

「GENKY」は知人から紹介された。都会で働くのは怖かったが、家族に頼る暮らしから抜け出したかった。丁寧な仕事ぶりですぐに常連客がつく。歩くこともままならなかった華人系の女性(65)はマッサージのたびに少しずつ改善。今は週3回来店してチップを弾んでくれる。

月収は約3万円で工場労働者の平均賃金の10倍。「仕事で得たお金で暮らせるのがうれしい。高い技術を習得してさらに良い仕事をしたい」

開店に尽力したのはヤンゴンで旅行会社などを営む西垣充さん(38)だ。本格的なマッサージ店がないことに常々不満があったが、盲学校で学んだ人がいると聞き、昨年末に試してみた。技術はまずまずだったが、働く場がないという。「ニーズは必ずある」と考え準備にとりかかった。

障害者が学ぶ筑波技術大がアジア諸国のマッサージ指導者の育成に取り組んでいることを知り、助言を受けた。知人の整骨院経営者からは、従業員教育や価格設定などのノウハウを教えてもらった。目標に掲げたのは、地元の人々が気軽に通える店にするこ

と、そして何よりスタッフの経済的な自立だ。施術料は1時間で6000円程度。顧客には「満足したらチップを」とお願いする。

障害者への偏見や差別を和らげる契機にもなるのではと西垣さんは期待する。「障害者を恥と思ひ、外に出したくない家族もいる。でも、店でありのままを知ってもらうことで、見方が変わるかもしれない」。同様の店を地方でも展開する計画で、視覚障害者のマッサージ師を養成するコースを近く、ヤンゴンに開設する準備を進めている。

介護人材ミャンマーで育成

MIBTI―今秋にも日本派遣

ミャンマー人の人材派遣を手がけるMIBTI（ヤンゴン市）は、日本の外国人技能実習制度に介護職が含まれることを想定し、ミャンマーで介護人材の育成・派遣事業に乗り出した。約1年間かけミャンマー人に介護の知識と日本語を教え、日本の介護施設へ送り出す。すでに神奈川県施設が受け入れの意向を示しており、早ければ今年秋に第1弾の人材を日本に派遣する。



ミャンマーの医師会と連携し、日本の介護と関連の資格テキストを現地語に翻訳。介護に特化した知識と日本語を徹底的に教える。試験生約20人を受け入

行的に2015年7月、5月以降は2、3

から1期生の介護士育成クラスを始め、6人

を教育中。3月16日に2期生28人、5月に3

に最大80人程度のミャンマー人を募集・教育

ミャンマー人の介護人材を育成（MIBTI提供）

制度を巡っては、改正法案の成立が流動的になっている。だが、MIBTIは近く法案が通ることを想定し、今年秋には1期生を神奈川県施設に派遣

できるよう準備する。

同社はグループ企業に日本企業のミャンマー進出支援を手がけるコンサルティング会社や

日系企業に人材を紹介する会社、ミャンマー人向けの日本語学校がある。このネットワークを生かし、「実習生が帰国した後も就職活動の面倒を見る」（西

垣充アドバイザー）ことを強みとする。

技能実習制度は実習後に母国での就職が困難な点が課題に挙げられている。ミャンマー人の介護人材派遣事業は日本の医療機関・介

護施設が同様の動きを

みせているが、MIBTIは帰国後まで総合

的に支援することを売

りに他社と差別化す

る。

|| 信仰心があついミャンマー人とどう付き合うか

説教、祭り、遠慮… 仏教的要素に関心を

サネインターナショナル代表 (在ヤンゴン) ●西垣 充

人口の9割が仏教徒。仏教的な習慣や気配りが成功を左右することも。

人 口の9割を占める仏教徒。信仰心があついミャンマー人を理解するためには、仏教を理解しなければビジネスは成立しない。会社の管理・運営には、仏教的な気配りをすることで社員の士気を高め、業績を上げることもできる。

ミャンマーのテレビ局は、朝一番

に説教をする僧侶の姿を放映する。ニュースや天気予報ではない。この説教こそが、ミャンマー人の一日の生活を聞く。これは職場でも同じだ。

ヤンゴン市郊外にある縫製工場では、朝8時の始業と同時に有名な僧侶の説教がスピーカーから流される。工場内にはその説教を聞きながら、黙々と働き始める。「説教を聞きながら仕事を始めると、やる気が出て一日頑張ろうという気持ちになる」という。同市内のスーパでも、朝一番に店内から聞こえてくるのは僧侶の説教。従業員向けで、勤労意欲を引き出すためだそう。

説教だけではない。工場や商業施設、オフィスには必ず、お釈迦様の備えた仏壇がある。仕事前には、従業員が率先してお供え物やお水、花などを生けて、仏壇に祈りをささげるのも日常茶飯事だ。

僧侶が夏の3カ月間、一カ所にこもって修行をする「雨安居」が明けた満月の日やビルマ暦正月（おおよそ4月半ば）明けなど仏教の特別な日には、会社で僧侶を招待してこっそうを振る舞うことも普通。従業員らに説教やお経をあげてもらい、会社の繁栄を祈ってもらうことで従業員は喜びを感じ、士気も高まる。

さらに、11月の満月の日の「カティン祭り」も重要だ。これは僧侶に新しい僧衣や傘などを寄付する祭り

で、みこしのような「パデータピン」（品物が豊富にある木）と呼ばれるものに、僧侶のけさや洗剤、食器などの日用品や一人1000円（約1000円）程度のおカネを従業員が出し、その「みこし」を僧院に寄付する。これも会社の一体感を生み出し、従業員の定着率を上げる一つの重要なイベントなのだ。

社員旅行も有効だ。若者同士、旅行に出掛けることは両親の管理が厳しいミャンマーでは少ない。そんな環境で育ったミャンマー人は、同じ年代・職場のメンバーとともに旅行することに、特別な感情を抱くものなのだ。

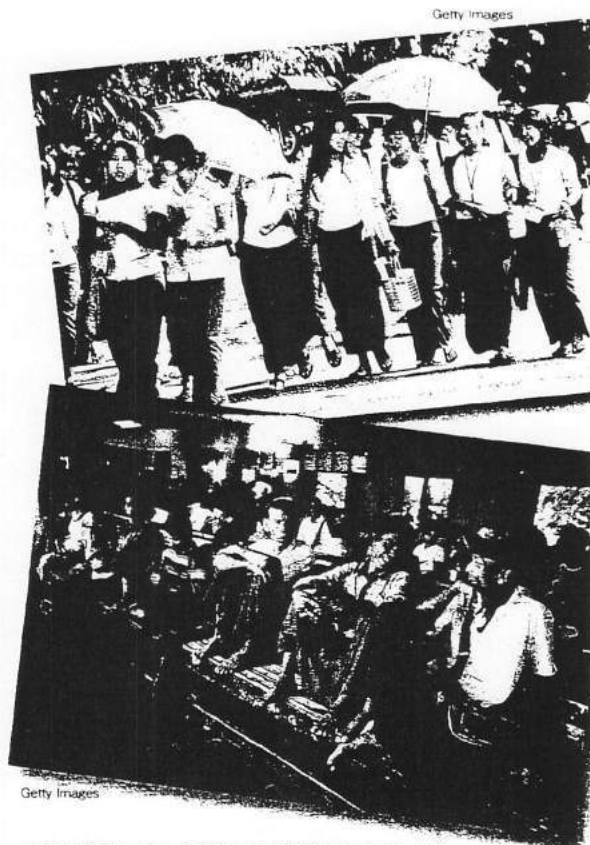
また、ミャンマーではカラオケが人気なため、従業員同士でカラオケに行く機会を設けたり、工場全体のカラオケ大会を開くことも多い。同

じ会社で働く者同士の絆を深め、会社への帰属意識を高めて雇用の安定にも寄与する。

「遠慮の文化」が強く 問題発見に遅れも

従業員の雇用には、本人よりも両親の意志が強く影響することも覚えておいたほうが良い。仏教には「両親には梵天のように接しなさい」という言葉があるが、従業員にとって両親の意向は絶対的なもの。従業員が働きたくても親が反対すれば、従業員はその会社で働けない。

女性ならば飲食店など夜が遅い仕事や、長時間労働、地方出張の多い仕事は両親から嫌われがち。男性でも仏教で禁止されていることにかかわる仕事や給料が少ない仕事は、両親から辞めるように言われやすい。



女子高校生たちは、民族衣装の制服を着用する(上)。
通勤するフェリー乗り場で船を待つヤンゴン市民(下)



朝は説教を聞いてやる気を出す

有名な高僧の説教で仕事を始め、気を充実させるのがミャンマーの仏教徒。説教がBGM代わりになっている。日常生活に僧侶の存在が組み込まれているため、高僧のプロマイドを財布の中に入れて持ち歩いていることも普通だ。



親の意見は絶対

就職は、本人の意志以上に親の意見に左右される。日本人なら誰でも知っている日本企業でも、親が「知らないから」ということで就職を認められず、地元の企業で働くよう言われることもある。

一方、仏教的な思想がビジネスの障害となることもある。ミャンマーの仏教は上座部仏教で、目上の人を敬うことを重視する。たとえば、学校では先生は絶対で、先生への質問は「先生に対して疑問を持った」ということで先生を侮辱する」と考えられるため、授業中の質問は御法度。そんな教育の影響で、職場の上司などにも、これと同じことが出てくる。ミャンマー語には「アーナーデ」(遠慮します)という言葉がある。いわゆるアジア特有の遠慮文化

従業員の中には、「親から別の会社で働くように言われた」と涙を流して辞めていく従業員もいれば、逆に、一度会社を辞めると言ったものの、「母から言われて働くことにした」と戻ってくるケースもある。さらに、従業員の家庭環境まで把握することが大事で、特に、家計を誰が支えているかを知る必要がある。家計を支えているのは従業員だけか、あるいは兄弟などほかの家族が支えているのか。両親は健在か、ほかに特殊な事情はないかなどを把握する必要がある。

時には、従業員の家族の病気、あるいは冠婚葬祭を会社としてできるだけサポートしてあげることも、従業員の帰属意識を高め、また両親や家族が会社に対し好印象を持つきっかけにもなる。

これは、かつてのいわゆる日本の経営と非常に似ている面も多い。ミャンマーでは、日本的経営の王道を行くことが、安定した従業員管理につながるのかもしれない。

豊富な天然資源をはじめ今後のビジネスチャンスに日本では関心が高まっているが、そこまで関心を集めるのも、これらミャンマー人の性格や特徴が、日本企業や日本人駐在員には心地よく感じることもあるためだ。それが最大の魅力かもしれない。

にしぎき・みつる ●日系大手コンサルティング会社を経て、96年からミャンマー在住。98年から現職。企業進出支援・調査活動などを行っている。

大阪外国企業誘致センターの概要

大阪外国企業誘致センター(Osaka Business & Investment Center、略称:O-BIC)は、2001年4月に大阪府、大阪市、大阪商工会議所が共同で設立。外国企業、外国公館・経済団体等の大阪進出を支援するワンストップ・サービス・センターとして、有望企業の発掘、進出のサポートから定着支援まで、幅広く取り組んでいる。(事務局:大阪商工会議所国際部)。

2015年度までの誘致実績は累計で426件。うち、ミャンマー企業は昨年度のヨマフジコーポレーション(ミャンマー連邦商工会議所役員会社)の進出に続き3社目。

O-BIC の主なサポート内容

- 外国企業誘致・支援のための情報提供
 - 大阪の一般情報(地勢・気候・経済・文化等)
 - オフィス、倉庫、工場、住居などの不動産情報
 - 公的支援(インセンティブ)の紹介
 - 生活インフラ(住宅・生活・教育・医療・公的サービス機関) 等
- 拠点設立手続きサポート
 - (司法書士、税理士等専門家による企業設立手続のアドバイス)
- ビジネスパートナーの発掘支援
- テンポラリーオフィスの紹介(大阪市、ジェトロ大阪本部)

等

以 上



ミャンマーに笑顔

ミャンマーに住むすべての人が希望に心躍らせ、夢を手に入れることができる社会を実現する。私たちが展開するすべての事業は、ミャンマーに笑顔を咲かせるためにあります。



企業進出支援

最後の投資フロンティアと呼ばれ、豊富な天然資源や有能な人材が数多く存在。その輝く未来に、世界中から注目が集まるミャンマー。法規上の規制が厳しく、新規参入が難しい環境下にあります。そこには多くのビジネスチャンスが眠っています。そんな可能性溢れるミャンマーへの日本企業さまの進出を支援すべく、私たちはあらゆるサポートを行っています。企業進出をしっかりとデザインし、ミャンマーの雇用を創出することで、優秀なミャンマー人に成長のチャンスを与えたい。正当な賃金で技術を学べる環境を用意し、みんなを笑顔にしたい。その想いを実現するために、できることすべてに私たちは取り組んでいるのです。



ビジネスマッチング

ミャンマー国内には、日本企業とのマッチングを求める様々な業種の企業があり、そのネットワークは日々拡大しています。最新の現地情報を駆使し、貴社のニーズに合った企業をご紹介します。

現地事前調査

各業界の動向やビジネスの可能性を探りたい。メディアの現地取材前に下見や事前交渉をしてほしい、などのニーズにお応えします。ネットワークをフル活用して調査し、正確な情報をお届けします。

視察ツアーの企画・手配

ミャンマーへの進出を目的とした企業視察を徹底サポートします。政府省庁とのアポイントメントから視察先企業（工場）の選定・アポイントメント、通訳・車両の手配など、あらゆる業務を承ります。

法人設立

会社登記、各種許認可取得など、法人設立に関するすべてを、現地法律事務所の専門弁護士とともに支援します。

人材採用・人材育成

日本国内の企業にフィットした人材を獲得するための、効果的な採用プランニングを行います。ミャンマー政府から公式派遣免許を与えられているため、質の高い人材を集めることが可能です。

営業・販促ツール作成

ミャンマー語のチラシ・パンフレット・ホームページなど、貴社のニーズに合ったツールを企画から作成し、現地の営業活動をサポートします。

不動産取得・建築支援 立地診断・見積診断

事務所、店舗の賃貸および売買契約から、工場用地取得・建設工事、駐在員のお住まいに至るまで、不動産に関する業務を幅広くサポートします。

生産・受発注 管理サポート

電子部品、プラスチック製品、縫製業など、ミャンマーでの生産をご検討されている企業さまと現地企業との橋渡しをし、生産、受発注管理をサポートいたします。

ミャンマー 経済事情講演・セミナー

ミャンマー視察でヤンゴンにお越しの際、代表の西垣がセミナー形式で最新の状況をご説明させていただきます。また、日本滞在中の場合は、日本での講演も可能です。



を。

★ 社会貢献

すべての人に成長の機会と、成功のチャンスを与えたい。そんな想いから、一企業として、ミャンマー社会に貢献すべく取り組んでいる事業があります。



視覚障害者マッサージ店「GENKY」がミャンマー政府より表彰される。

日本語学校

ミャンマー進出を目指す日本企業さま向けに、日本語学校を開校しています。ミャンマーに拠点を持たない場合でも、J-SATからの派遣という形で、日本語の研修を受けることが可能です。また、勉強のほかに、学習の取り組み具合を含めた労務管理まで行っています。日本企業で働きたいという志を持った優秀な人材を私たちが育てることで、ミャンマー進出を目指す日本企業さまは、ある程度、人材が育成された状態で採用することができるのです。働く機会を求めるミャンマーの若者と、ミャンマー進出を目指す日本企業さまとの懸け橋になることで、ミャンマーの発展に寄与する人材を育てられればと思っています。

医療マッサージ店「GENKY」

ミャンマーに住む視覚障害者の方の就業機会を創出し、独立を支援することを目指し、2009年にヤンゴンに開店したのが、「GENKY」です。ミャンマーでは、盲人の方の多くが、高度なマッサージ技術を学んでいます。しかし、彼らには、修得した技術を活かす場がないのです。その問題を解決すべく開設しました。現在、「GENKY」は、盲人の方の社会的地位の向上を目指す、訓練センター的役割を担っています。また、「GENKY」の看板を使用していただくことで、経営面もサポートしています。2009年には、視覚障害者マッサージ発展財団も設立。視覚障害者の方の働く機会を創出すべく、尽力しています。

★ 旅行・取材コーディネート

日本では、ミャンマー関連の情報は非常に少なく、その情報も不正確なものや偏ったものが数多く見られます。軍政など、危険な国というイメージを持たれている方も多いようです。そんな状況を是正すべく取り組み始めたのが、旅行手配やテレビ番組の取材コーディネート業務です。正しい情報を発信し、魅力溢れる観光地をご紹介しますことで、ミャンマーを何度も訪れたい国だと思っていただけできるよう尽力しています。特に、取材コーディネート業務においては、確かなネットワークを持つ私たちがからこそご提供できる深い情報を武器に、企画立案からお手伝いさせていただいております。



旅行演出

旅行商品の企画販売、チケットやホテルの手配、現地案内、トラブル時の対応など、安全でこだわりの旅を演出するために、ミャンマーのプロとして、きめ細やかなフォローをします。

個別旅行プラン

一人ひとりのお客さまに最高の旅行をお届けするために、旅行前のカウンセリングを徹底。個別のニーズを反映させたオリジナル旅行企画もご提案しています。

手配・交渉

現地スタッフの手配、撮影場所、取材対象者、撮影期間や制作費の交渉など、撮影をスムーズに行うためのあらゆるサポートを行います。

企画立案

企画段階から番組制作に携わることができるのも、私たちの大きな強みです。構成、台本の制作など、より充実したプログラムにするための人脈、リアルな情報を持っています。

果たすべき使命があるかぎり、 ミャンマーで生きていく。

なぜミャンマーなのか。それは、ビジネスで成功を望める国だからという訳では決してありません。私には、ミャンマーで果たすべき役割がある。使命感に近い想いが、背中を押し続けてきたのです。

人生の転機は、学生時代のカナダ留学でした。当時、留学先のエドモントンには、ラオス、ソマリア、ポーランドなど、世界各国から人が集まり、中には、母国の政情不安により移民してきた方もいました。その時、改めて痛感したのは、「日本人は本当に恵まれている」ということでした。努力次第で好きな仕事に就け、お金を稼げる。日本人にとって当たり前のそんな現実を、夢のような生活だと考える国があることを肌で感じたのです。恵まれた日本人の一人として、社会に貢献したい。そう痛烈に感じた私は、どんな世界でも勝負できる力を身に付けたいと、船井総合研究所で働くことを希望しました。

世界の現実を知ることの重要性を理解した私は、内定獲得後、再び旅に出ました。まずアジアを見ようと、カンボジア、ベトナムへ。そして、その旅路で出会った人から、「これからはミャンマーが面白い」とアドバイスを受けたのが、人生の分かれ道になったのです。1995年1月、私は、ヤンゴンの地を踏みしました。しかし、目に映ったのは、到底理解することのできない異国の風景だったのです。ベトナムにもカンボジアにも、活力がありました。しかし、ミャンマーは違った。人の目に、どこか諦めに似た感情が宿っていたのです。経済的に厳しい

ミャンマーでは、人々は生まれた土地で同じ身分で一生を過ごすのが当然のことでした。身分によって住居も食事も違う。そんな異国の現実が、私には納得できなかった。すべての人にとって、希望に満ちた社会にしなければいけない。強い使命感に全身が襲われました。帰国後、船井総研に入社した私でしたが、アウンサンスーチ女史が解放されるというニュースを聞き、一刻も早く現地へ飛びたいという想いがより強くなりました。そんな時、偶然にも、旅行会社がミャンマー駐在員を募集していることを知り、迷わず会社を辞めたのです。1995年7月、人生の流れが大きく変わりました。

その旅行会社では、約2年間働きましたが、アジア通貨危機の影響を受け、1998年に退社せざるを得ない状況に。新たな一步を模索し始めた私には、「今こそ、ミャンマーのためになる事業を始めたい」という決意がみなぎっていました。しかし、現実には甘くありません。住宅情報誌を出版したりもしましたが、検閲が厳しいため軌道に乗らず、生活はますます厳しいものに。試行錯誤の末、ミャンマーでは、政府の影響をあまり受けない事業が安定すると気づき、旅行会社『Sanay Travel & Tours』を立ち上げたのです。この旅行事業で、まずは生活の基盤を固め、ミャンマーのためになる次なる事業を創造したいと考えました。また、2000年1月からインターネットで旅行受付をするホームページを作り、ブログなどを通してミャンマーの本当の姿を世界に発信していったのです。

1970年

大阪府池田市に生まれる。



ヒッチハイクで行った北極圏にて撮影

1992年

兄のいるカナダへ留学。
また、ヒッチハイクで北極まで行き、
精神的タフさを身に付ける。

旅行会社勤務時、スタッフと撮影

1995年

船井総合研究所入社。
ミャンマーで働くことを決意し
12月に退社。

旅行会社勤務時、中国国境付近にて撮影

1996年

日系旅行会社の
ミャンマー駐在員として
ヤンゴンに赴任。

Sanay Travel & Tours立ち上げ時

1998年

アジア通貨危機の影響で
旅行会社を退社。
Sanay Travel & Tours社を立ち上げる。



使命

2001年頃から、日本のテレビ番組の制作会社などから、現地コーディネートの依頼が少しずつ入るようになったものの、苦しい時期は続いていました。昼間はヤンゴン市内のホテルでセールスマネージャーとして働いたりしました。商社から現地採用の打診を受けたこともありました。しかし、私の目標は、ミャンマーで生活することではありません。ミャンマーという国に希望を咲かせることが私の役割。それを実現するためにも、まずは旅行事業を軌道に乗せたいという想いから、一切の迷いもなくお断りしたのです。

そして、ようやく2005年頃から、番組制作会社からの依頼が定期的に入り始めました。ミャンマーに10年以上住んだことで蓄積した膨大な人脈と知識を駆使し、単なる手配業務ではなく、番組をより充実したものに導けるよう、リサーチや企画立案まで行うことで信頼を得ていったのです。ミャンマーを見下す番組には携わらず、ミャンマーの真の姿を発信しようとしている番組制作を、全力でサポートしていきました。

「ミャンマーを希望溢れる国にしたい」。険しい道のりでしたが、ここ1、2年で、ようやくその使命を実現するための足がかりになる事業を展開できるようになりました。今、私たちは、現地調査から複雑な会社設立手続き、政府許認可や人材採用・育成など、幅広いビジネス支援コンサルティングに取り組んでいます。なぜ、そこまでやるのか。

それは、これらの事業が、ミャンマーの人々の幸せに繋がるからです。

今後、日本企業のプレゼンスが高まれば、雇用も増え、ミャンマーの発展にも貢献できるはず。だからこそ、できるすべての支援に全力を注ぎたいのです。将来を見据えて、企業進出のデザインをする。ミャンマーで長年やってきた私たちだからこそ、正確で、徹底した支援ができると自負しています。私たちは、事業ありきの経営ではないのです。ミャンマーに住むすべての人を幸せにできる事業だけを展開していくのです。「可能性溢れるミャンマーに、ビジネスで笑顔をもたらしたい」。そう本気で思われている企業さまとの出会いを心待ちにし、果たすべき役割がある限りは、ミャンマーで日々を精一杯、生きていく。それが、私の使命なんです。



代表取締役
西垣 充

2000年

ミャンマーの正確な情報を伝えるため、会社のHPでブログを開始。



共に独立した知人と旧・日本人墓地で記念写真

2005年

旅行コーディネートの依頼が定期的に入り始め、ようやく会社が軌道に乗る。



オフィスを中華街に移転

2010年

事業多角化。ビジネス支援をトータルサポートできる体制を整える。



現在のオフィス風景

2012年

視覚障害者マッサージ店「GENKY」がミャンマー政府より表彰される。



ネービードでの授賞式にて

内田クレペリン検査 正規代理店

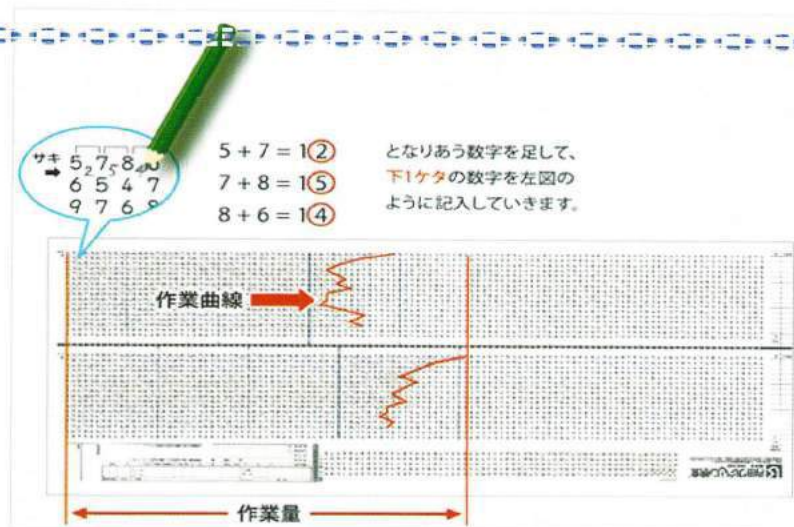
優秀なマンマーマ人材採用の救世主

【内田クレペリン検査】

■どんな検査か？

一桁の足し算を1分ごとに行を変えながら、前半と後半で各15分間ずつ、合計30分間行います。

現在年間100万人
60年以上の歴史の中で
累計5000万人以上
の人々が受検している、
もっともポピュラーな適性検査です。



■どんなことがわかるのか？

通常、「知能」や「性格」を測るためには、2つ以上の検査の実施が必要となりますが、内田クレペリン検査はその

「①能力面の特徴(知能)」

「②行動面の特徴(性格)」

の両方をまとめて測ることができます。

課題や設問に答えるという検査ではないため、**受検者が意図的に結果を操作しにくい**という特徴もあります。

言語の制約が無いため、日本も含めた各国で、同じ基準で判定することができます。

■フィードバックについて

基本的には、営業日三日ほどで結果について回答しており、下記資料及び、各受験者の特徴をコメントし、担当者さまへフィードバックさせていただきます。

Uchida-Kraepelin Test : Evaluation Report

Entry: 16060102 Org Name: J-SAT
Exe No: 008 Exe Name: Sanderose Age: 24 Sex: Female

■ Position of Examinee:



■ Comments:

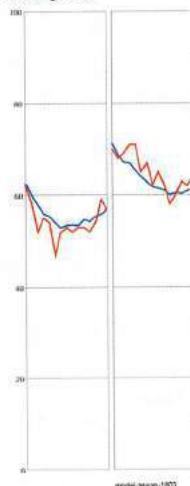
High ability and speedy working.
Can cope with various tasks,
and quickly get comfortable with new ones.
Error count: No problem

内田クレペリン検査 Copyright: NISSEIKEN, Inc. Agent: Asia Dynamic Communications Co. Ltd

Uchida-Kraepelin Test : Composition of Examinees

Entry No.: 16060102 Org Name: J-SAT Date of Entry: 2016-06-01 n = 59

■ Working Curve:



	1	2	3	4	Out of Range	SUM
1	1.1 1.1					

【お問い合わせ先】

J-SATコンサルティング

電話番号: 森川 (携帯): 09-2611-38201

住所: サクラタワー12-A ご遠慮なく何でもお申し付けください。



日系企業向け 人材紹介サービス専門

タイ最大手 日系企業向け人材紹介会社と提携※ 御社の採用活動をお手伝いします！



J-SAT Services Co., Ltd.

ミャンマー国内での人材紹介・派遣に必要な **ミャンマー政府労働省の人材紹介ライセンス** を取得 (No.11/2016)



貴社がお求めになる人材を、迅速に紹介させていただきます。
採用までのプロセスには、一切 費用はかかりません。

J-SAT 人材紹介サービスの流れ

求人のご連絡

- 訪問/TEL/Email 等にてご連絡ください
- 職種、職務内容、年齢性別、経験年数等の条件をご指定ください

候補者紹介

- 弊社に登録頂いている人材の中から候補者を紹介します
- 弊社プレインタビューで全登録者と面接を行い、英語・日本語スキルを5段階評価しています

面接・選考

- 書類選考の後、納得のいく人材採用に向け面接ください
- 面接設定のお手伝いをさせていただきます
(日時・会場をお知らせください)

採用

- 勤務開始日、待遇等の入社条件を連絡ください
- 候補者との間に入り最終調整いたします

費用は規定の紹介手数料のみ。最小コストで最大の効果をお約束します。

- ① 手数料については、弊社より候補者へ勤務開始を確認した後に請求させて頂き、採用時の給料(基本給、役職手当 及び 能力給 含む) 1ヶ月分相当を人材検索手数料として頂戴いたします。
- ② 勤務開始より3ヶ月経過し、正式採用となれば、採用時の給料の1ヶ月分相当の紹介成立手数料として頂戴いたします。
※人材検索手数料、紹介成立手数料の合計2ヶ月分が手数料になります。尚、正式採用となるまでの3ヶ月間を「再紹介保証期間」とさせて頂きます。
- ③ 紹介した人材が、1回目手数料お支払い後に退職した場合、もしくは、御社のご期待に添えず3ヶ月間の「再紹介保証期間」終了時、雇用継続とされない場合には、後任の人材を速やかにご紹介いたします。
※後任人材の手数料は、後任者が3ヶ月を経た際に、後任者の給料1ヶ月分を頂きます。
手数料の合計は、前任者・後任者 あわせて2ヶ月分となります。
- ④ お客様が納得される人材が見つかるまで、人材を再紹介いたします。
- ⑤ 面接 及び その他 採用プロセスにかかる費用は、一切無料です。
※弊社から一度紹介差し上げた人材を最初の紹介日から12ヶ月以内に採用される場合は、弊社からの紹介が成立したものとみなし、通常の紹介手数料をいただきます。



【お問い合わせ先】

- ▼ 電話番号: オフィス:09-8641219、09-421140290、09-453890834
森川(携帯):09-261138201 ミミチョー(日本語可):09-5032844 エーミヤツモン(英語可):09-451726992
- ▼ E-mail : info@j-sat.jp
- ▼ Web Site : <http://www.jobmyanmar.jp>
- ▼ 住所: Room No. 1210, 12-A Floor, Sakura Tower, No.339, Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon
- ▼ 受付時間: 月一金 9:00~17:00 / 土 9:00~15:00



タイ最大手日系企業向け人材紹介会社 (パーソネルコンサルタントマンパワータイランド株式会社) と業務提携

機械CAD 自動車整備 IT・プログラミング

ミャンマー人材活用

日本向け人材紹介

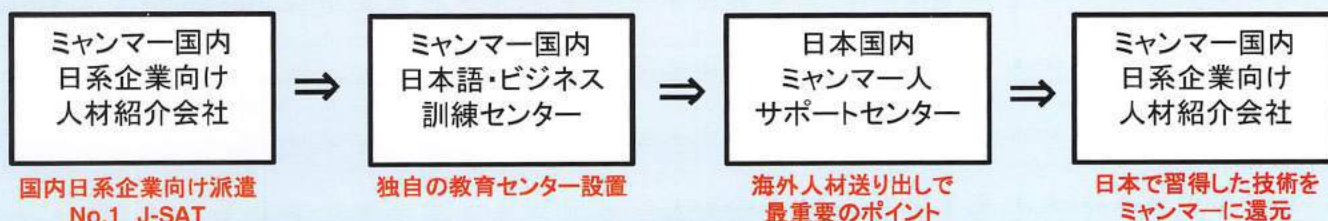
日本人正社員雇用で困っている中小企業向け
20年ミャンマーで事業を行う実績と経験から作り上げた
全く新しい独自の日本企業向け育成プログラム

ミャンマー人材紹介の5つの特長

1. 面接済み大卒登録者数12000名以上保有するミャンマー国内日系企業人材紹介No. 1のグループ派遣会社を使って求人
2. ミャンマー全国主要12国立大学提携し最高学年生徒全員対象講座を毎年実施。
3. ミャンマーでは会話重視のオリジナルテキストを使用し効率良い日本語教育と日本での労働現状やビジネスマナーなどを取り入れた教育システムと管理
4. 日本受け入れ前から日本在住ミャンマー人が受け入れ企業へのフォロー、受け入れ後のミャンマー人をミャンマー人がサポート
5. 実習生について、日本帰国後のミャンマーでの日系企業就職をサポート



採用後日本語研修



ミャンマー人材が日本で働く法的枠組み

	正社員	技能実習生
ビザ	就労ビザ (技術・人文知識・国際業務)	就労ビザ (技術・人文知識・国際業務)
主旨	・特定の分野において、技術や知識、あるいは経験を持った海外人材に、日本で就労し、能力を発揮してもらい、活躍してもらうこと	・特定の分野において、日本の高度な技術を一定期間就労・習得し、帰国後、習得した技術を自国の経済・産業発展に役立てること(技術移転)
ビザ要件	・日本で行う業務内容と現地卒業学部、もしくは現地就業経験に深い関連性があること	・現地に於て、150時間以上の日本語教育を受ける ・日本国内にて管理団体(組合など)が入国 ・滞在時の監理を行う・学歴は問わない
就労期間	無期限 (ただし、原則1、3、5年などビザの期限ごとに更新)	原則3年 (一部業種については、3年目に基準をクリアすると、2年延長可能)
分野	CAD、IT関連、エンジニアリング、貿易、通訳など	農業、漁業、建設、工場、介護(未定)、工場(板金、電気塗装、繊維、食品加工)など128分野

お問い合わせ・ご相談

J-SAT ミャンマー

で検索

mail : info@j-sat.jp
TEL&FAX +95-1-255683

J-SAT流 日本語訓練センターの5つの特徴

1. 日本語検定試験のための日本語ではなく、日本企業で働くための日本語を日本人専任講師らが教える。
2. 会話重視のオリジナルテキストで、文法はミャンマー人講師中心、会話は日本人講師を中心に言葉使いや言い回しなど実践の言葉を教える。
3. 日本語だけでなく、日本の文化や生活、仕事する上での注意事項などをミャンマー人日本勤務経験者が授業の中で教える。
4. 遅刻に厳しく出欠管理は徹底して、日本の勤務に備える。
5. 日本語教育時間 月～金 一日6時間(2時間×3コマ)。宿題・課題も多く、夕方以降は毎日3時間以上は自習する短期集中教育。

ミャンマー人材育成スケジュール例

項目	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月
高度人材採用・育成スケジュール													
1 人材紹介依頼	●												
2 人材リストアップ	●												
3 スカイプ面接	●												
4 現地採用面接		●											
5 日本語教育			●ベーシック				●アドバンス						
6 専門教育									●期間は求めるレベルによる				
7 ビザ申請											●約2ヶ月		
8 渡航													●
9 就業													●
その他の動き													
1 日本から講師派遣													
2 人材の親と挨拶													

ミャンマー人材雇用給料イメージ

人材レベル	現地※①	日本
経験者	2万円～	20万円～
一般	1.5万円～	17万円～

※①現地に於て教育中の給与の目安

■日本での給与は税金、社会保険、住居費、食費(約1万円)を除いて最低でも手元に10万円が残るように設定をお願いします。

■日本人と同等の扱いが必要(例えば、大卒後間もない人材は大卒扱い)

■日本の労働基準法、税法、社会保険、および貴社の就業規則が適用される"

■会社側で、寮、社宅などを準備する必要があるが、本人が一部負担

弊社からミャンマー人材を採用した事例



愛知県T社
機械CAD設計
技術大卒



北海道F社
土木建設業
技術大卒



東京都U社
システム会社
技術大・IT学部卒



神奈川県I社
介護事業
(未採用)

<経営者様の声>

CAD・パソコン操作の習得は早く、すでに日本人と同じ内容・レベルの仕事をこなしています。

<経営者様の声>

来日半年ですが、日本語は問題ありません。学力が高く、当社の研修担当が感動しております。

<事業責任者様の声>

ミャンマーで研修開始して7ヶ月後から日本の仕事に着手。大きな戦力となることを期待しています。

<経営者様の声>

法的条件が出揃わず、未採用ですが、各国との比較で、ミャンマーに絞り込んで採用する予定です。

お問い合わせ・ご相談

「J-SAT ミャンマー」で検索

mail : info@j-sat.jp
TEL & FAX +95-1-255683

介護人材紹介



20年ミャンマーで事業を行う 実績と経験から作り上げた 全く新しい独自の 介護人材育成プログラム



①20年ミャンマーで事業行う実績と経験から作り上げた全く新しい介護専門送り出し機関

1. 介護現場と日本の生活で頻繁に使う必須単語・用語を500単語と200例文を抜出、日本の介護現場に合わせたオリジナルテキスト(ミャンマー語版)で効率よく日本語と介護技術を学習。
2. 1年間のプログラム。介護基礎知識の座学(1か月間)と地方介護施設への住み込み介護現場実習(1か月)を通し、日本で介護職が務まるか本人と専門家が判断。その後10か月の日本語研修及び介護技術訓練を行い日本に派遣していく。



②採用から教育、派遣、日本滞在のフォロー、帰国後の就職サポートまで、すべてグループ会社で完結！

登録者数20,000名を超える、ミャンマー国内日系企業専門人材紹介・派遣会社No. 1のJ-SAT 社が人材を集め、日本企業で働くための日本語教育に定評と実績がある送り出し機関であるMIBTI社が日本語教育を担当し、日本語渡航前にN3レベル取得を目指す。日本送り出し後は東京に常駐するミャンマー人スタッフが日本の介護事業者と外国人介護スタッフを日本語とミャンマー語でフォロー。技能実習後のミャンマー国内での勤務先を日本滞在時から紹介し円滑な技術移転を促進。



③ミャンマー医師会、病院、保険省OBらとのコラボにより、優れた介護人材を全国から抽出。介護教育における日本向けは独占業務提携を実現。

長年ミャンマーにて視覚障害者支援を行ってきた実績と人脈からミャンマー医師会、病院経営者、ミャンマー保険省OBらと日本人向け介護人材の求人、介護教育でコラボレーション。日本向けは独占業務契約を締結。

専門知識の介護研修ではミャンマーの医療機関と業務提携

医師会、保健省、病院の経営者等 国内医療におけるオールスターが在籍
豊富なスタッフと経験で国内医療のリーダーを担う企業

Professor Dr.
Kyaw Myint
Naing
ミャンマー医師会
前会長



Dr. Khin Maung
Chit
パラミ総合病院創始者
ミャンマー医師会役員



Dr. Tin Nyunt
元保健省局長
ミャンマー医師会
役員



Dr. Htoo Maung Ohn
アメリカの南カリフォルニア
にて救急医療の部長
パラミ病院緊急医療
局長



Dr. Win Myat Aye
NLD下院議員
ミャンマー医師会前会
長
元マグウェイ医科大学長



Dr. Thein Aung
元小児医療局長
バホシ病院創始者



ミャンマー語に翻訳したオリジナル介護テキストと介護用語を 500単語・200例文を抜粋し介護に特化した教育を実現

1. 日本語検定試験のための日本語ではなく、介護現場と日本の生活で頻繁に使う必須単語・用語を抜粋、介護現場で特に重要になる言葉使いや言い回しを介護のための日本語を実技を交えて学習。
2. 日本語だけでなく、日本の文化や生活、仕事する上での注意事項などをミャンマー人日本勤務経験者が授業の中で教える。
3. 遅刻に厳しく出欠管理は徹底して、日本の勤務に備える。



2015年7月オープニング



国内外のマスコミも注目

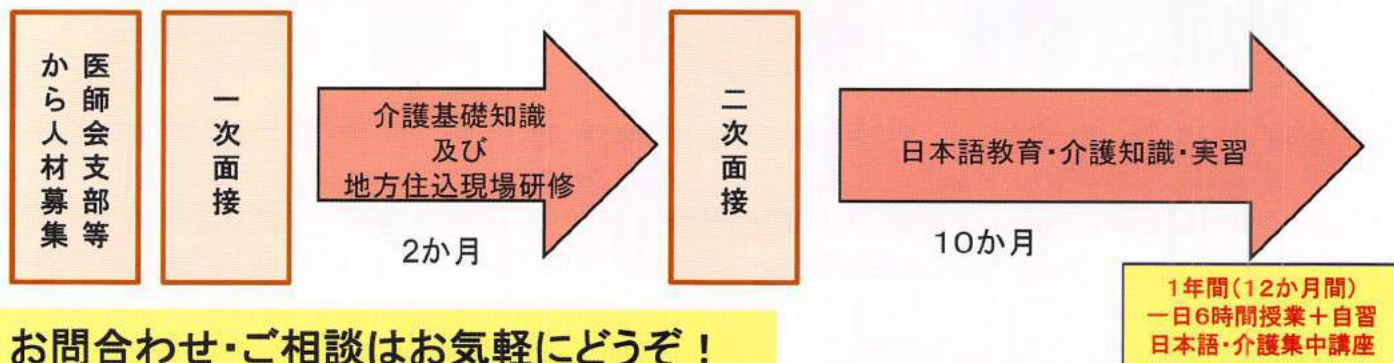


50名の中から選ばれた一期生



医療団体内で研修

介護人材派遣のSTEP



お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ！

J-SAT
代表 西垣 充

「J-sat ミャンマー」で検索

mail : info@j-sat.jp
TEL & FAX : +95-1-255925